

長野県森林づくり指針の計画期間の延長について (案)

令和2年11月
森林政策課

森林づくり指針 ～森林を活かし 森林に生かされる 私たちの豊かな暮らし～

- 長野県ふるさとの森林づくり条例（H16.10.14）第9条の規定により、H17.6.10に策定（H22.11.19に改定）
- 指針では、概ね100年先の森林のあるべき姿を明らかにし、その実現に向けて、今後10年間に推進する森林づくりに関する施策を提示
- 計画期間は、H23年度からH32（R2）年度までの10年間として、H21年度を起点にH32（R2）年度の目標値を設定

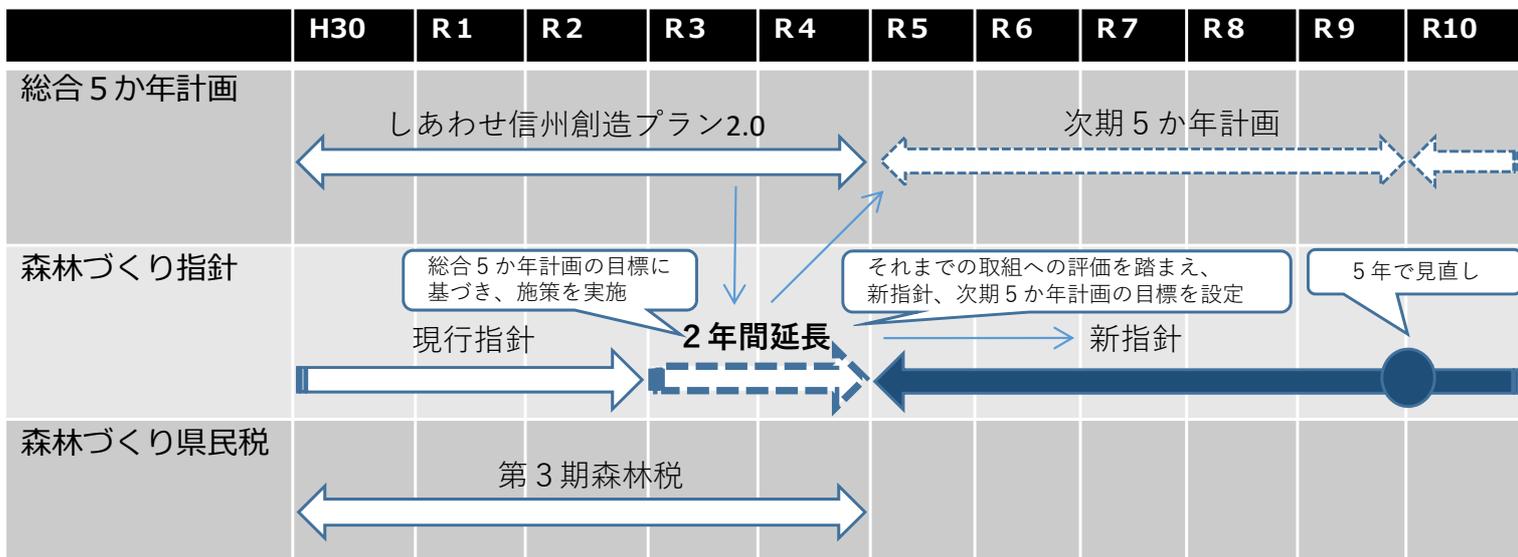
現行指針の取組

【現行指針が目指す姿】

- 森林づくり：多様な林齢・樹種からなる森林が、様々な機能を発揮
- 産業づくり：県産材が様々な用途に利用され、林業・木材産業が地域を支えている
- 地域づくり：森林資源・空間の多面的利活用により、産業や交流が生まれ地域が活性化

計画期間の2年延長

- H30年のしあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）の策定に当たっては、指針を踏まえて、2つの指標を森林・林業分野の関連目標に設定
- 指針の計画期間は10年であり、総合5か年計画は5年であり、計画の期間に2年間のずれがあることから、**整合と調和を図るため、R4年度まで現行指針の計画期間を2年延長**
- 計画期間の延長に当たり、**みんなで支える森林づくり県民会議等に意見を伺い、基本指標と施策目標の目標値を見直し**
- 延長した2年間は、新指針、次期5か年計画の目標づくりを行うための期間に活用



指針の延長目標値の考え方

- 素材生産量は、総合5か年計画と同一の目標値を活用
- 素材生産量以外の目標は、総合5か年計画の目標値を設定した際に活用・検討した数値や、実績数値、関連する計画等を踏まえて目標値を設定

基本指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
民有林の整備 (50年後の針葉樹占有率)	59%	43% (※R42)	59%	間伐は進むも、皆伐が少なく、統計上の変化なし	43% (目標年度をR44とし、 現行指針の目標値を踏襲)
民有林の間伐 (期間累計)	-	18.4万ha	14.4万ha	条件困難地が残存、 集約化の人員と現場 労務が不足	20.3万ha (総合5か年計画の目標値設定に活用)
素材生産量 (年間)	30.5万m ³	75.0万m ³	56.4万m ³	製材は減少、合板 は増加、バイオマ スは今後増加見込	80.0万m ³ (総合5か年計画の目標値を活用)
林業就業者数	2.6千人	3.0千人	1.4千人	働き手の減少、保 育事業の減少、不 十分な就業環境	2.2千人 (総合5か年計画の目標値設定に活用)

※ 現行指針では、民有林の整備のみ目標年度を50年後（平成72年度＝令和42年度）に設定

施策指標

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
保全される集落数 (期間累計)	-	700集落	493集落	災害の激甚化・多様化 による対策の遅れ	670集落 (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
山地災害危険地区 整備率 (期間累計)	18.3%	21.2%	20.8%	現行目標値はR2に達 成見込み	21.8% (過去の伸び率から算出)
間伐材搬出量 (年間：民有林)	14.3万m ³	23.8万m ³	14.1万m ³	近年は18～19万m ³ で 推移も、搬出間伐面積 の減に伴い減少	28.0万m ³ (総合5か年計画の 目標値設定に活用)
路網延長 (累計)	12,829km	14,429km	14,471km	達成済み	14719km (過去の伸び率から算出)
路網密度 (累計)	18.9m/ha	21.2m/ha	21.1m/ha	現行目標値はR2に達 成見込み	21.6m/ha (過去の伸び率から算出)
-素材生産量 用途別- 製材用 (年間)	169千m ³	414千m ³	179千m ³	住宅着工数の減少、合 板需要の増加により伸 び悩み	303千m ³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
-素材生産量 用途別- 合板用 (年間)	76千m ³	119千m ³	234千m ³	達成済み	200千m ³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
-素材生産量 用途別- チップ・バイオマス用 (年間)	60千m ³	217千m ³	151千m ³	木質バイオマス発電施 設の稼働が開始されて おり今後増加の見込み	297千m ³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)
県産材出荷量 (年間：製材品出荷量)	120千m ³	237千m ³	96千m ³	住宅着工数の減少、合 板需要の増加により伸 び悩み	200千m ³ (総合5か年計画の 目標値設定時に検討)

項目	基準値 (H21)	現行目標値 (R2)	実績 (R1)	説明	延長目標値 (R4)
森林の里親契約件数 (期間累計)	51件	100件	139件	達成済み	154件 (森林税基本方針の目標値)
二ホンジカ生息頭数 (保護管理計画策定時点)	62千頭	31千頭	106~301 千頭	H23.3は105千頭、 H28.3は106~301千 頭であり、R2に調査 を実施	第5期二ホンジカ保護 管理計画の目標値 (R3.3に確定)
野生鳥獣被害に対す る支援集落数(年間)	919集落	当初 1,300 変更 931	661集落 (H30)	H29に集落を大きく 化し再編	対象集落の内、被害発生 集落の7割以上を支援 (過去の実績から算出)

参考

しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画について）

- 県政運営の総合計画であり、概ね2030年（R12年）の将来像を展望し、これを実現するための5年間（H30~R4年度）の行動計画を策定。森林・林業分野は2つの指標を設定

指標名	現状	目標	備考
林業就業者一人当たりの 木材生産額	477万円/人 (2015年)	671万円/人 (2021年)	木材生産額を素材（木材）生産に従事する林業従事者で除した数値 [素材（木材）生産量の目標を踏まえ算出した木材生産額をもとに設定]
素材（木材）生産量	498千m ³ (2016年)	800千m ³ (2022年)	建築・合板・製紙・バイオマス用材等に使用される素材（丸太等）の生産量 [県産材需要の増加や信州F・POWERプロジェクトの稼働などによる生産量の増加を見込み設定]